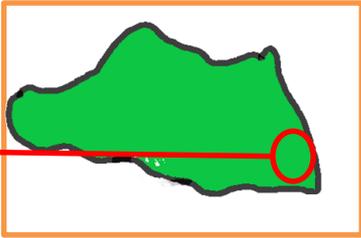


産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(29年度:計画作成主体:越谷市地域農業振興協議会)(埼玉県)

取組の概要

対象品目 : 野菜(いちご)(産地面積 70a)
 主な取組主体 : 農業者2名
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加
 基準(H28年度) 27百万円
 目標(R1年度) 31百万円
 導入施設等 : 基金事業のうち生産支援事業
 【資材】鉄骨ハウス資材、栽培設備部材
 【機械リース】給水・排水ユニット一式

埼玉県
越谷市
増林・大沢地区



ポイント

【産地の課題及び取組方向】

越谷市増林・大沢地区は都市近郊地域であり、周囲に多くの消費者を抱え、年間を通じて安定的な気象条件であることから、観光摘み取り農園が盛んである。いちごは観光農園において需要が高い品目であり、地域内外から多くの集客が見込まれるが、需要の高さに反して当該地区の栽培規模は小さく、受け入れ態勢は十分ではなかった。

そこで本事業を活用して経営面積を拡大し、販売額を向上させることとした。

【産地の体質強化に向けた方策】

- ①消費者から需要があるいちごの観光摘み取り農園への取組に必要な資材導入、機械等のリース導入を支援した。
- ②露地野菜(セロリ)から、収益の高い施設いちごへの品目転換を行い、販売額の向上を図った。
- ③育苗施設の整備により、自家育苗の効率向上と種苗費削減を図った。

産地体制

取組主体(農業者)

いちごの生産拡大

- ・ハウス整備に必要な資材導入等を行い、規模拡大
- ・育苗ハウス整備に必要な資材導入等を行い、購入苗から自家育苗への転換により種苗費削減

地域農業振興協議会

- ・補助金申請書類作成支援
- ・産地パワーアップ計画の策定
- ・産地PR

指導・助言

普及センター等

- 巡回による定期的な栽培技術指導
- 補助金申請書類作成支援

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- ・いちご栽培の専門知識のある技術者による定期的な圃場巡回及び栽培指導
- ・試験栽培による生産者への情報提供、販路開拓支援
- ・PRポスター等の共同制作、商工業・観光事業との連携支援

取組成果

【事業実施による直接効果】

- ①リース支援による初期投資の節減効果
- ②自家育苗によるコスト節減効果
- ③作付面積拡大による販売額向上

【事業実施による間接効果】

- ①自家育苗への切り替えにより安定生産が可能となった。
- ②収益性の高い品目(いちご)に切り替えたため、経営を安定させることができた。



販売額が28%増加
(達成率211%)

